

Terra

Employment & Improvement of the Construction Corporations



若手のアイデアで 安全性向上

谷沢川分水路工事
〔安藤ハザマ・東鉄・京急建設共同企業体〕



みらいをつくる 建設×女性力

磯貝優良さん
〔正和工業 株式会社〕

明日を担うづくり

徳力建設工業 株式会社
(舗装工事請負・一般土木工事請負)

これだけは知っておきたい

工事契約の廉売行為規制
改正建設業法「標準労務費」とは

■ 現場で使える天気予報
■ News Digest

■ TOKYO 名所ウォーキング
■ 東京労働局からのお知らせ



↑ シールドトンネル(約3,050m付近 2024年3月)

現場訪問
あんぜん
最前線

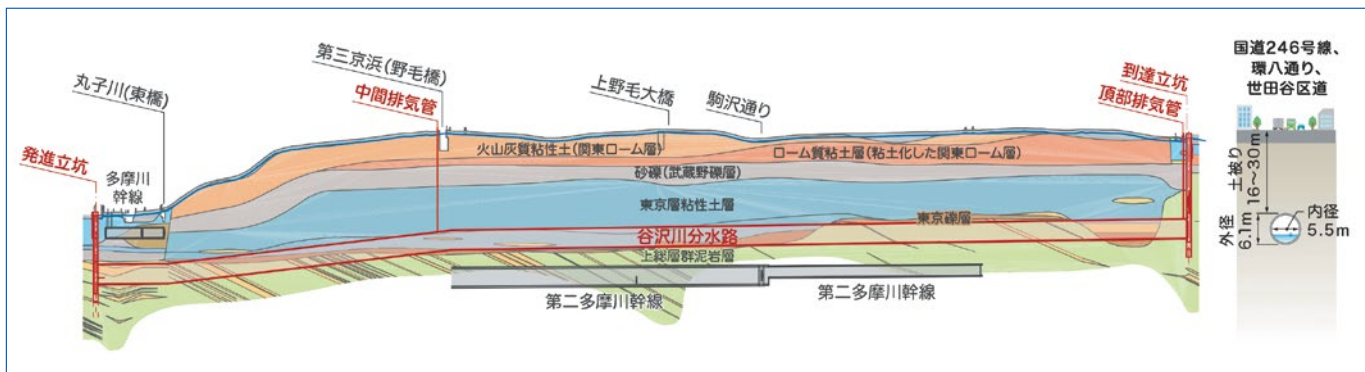
谷沢川分水路工事

若手のアイデアで安全性向上

施工場所 ▶ 世田谷区玉堤二丁目地内～同区玉川台一丁目地内
発注者 ▶ 東京都 **設計** ▶ 株式会社 建設技術研究所 **施工者** ▶ 安藤ハザマ・東鉄・京急建設共同企業体
工期 ▶ 2019年3月～2025年3月
規模 ▶ 一次覆工(泥土圧シールド工法)シールド機外径：φ6,250mm、施工延長：3,205.5m、急曲線区間：R20m×2カ所、R30m×5カ所、二次覆工仕上がり内径：φ5,500mm、発進立坑(地中連続壁工法)外径：φ15,108mm、深度：29.500m、中間排気施設(鋼製ケーシング+組立マンホール)外径：φ2,580mm、深度：28.557m、到達立坑(ニューマチックケーソン工法)外径：φ14,100mm、深度：35.370m



↑ イメージ図



①地層断面図



②谷沢川分水路の事業効果

地球温暖化の影響とされるゲリラ豪雨が日本の各地で多発する中、東京都は集中豪雨や大型台風による浸水や河川の氾濫を防ぐための治水対策に力を注いでいる。谷沢川分水路もその一つで、2019年から進めてきた本体工事がおよそ6年にわたる長丁場を経て間もなく竣工を迎える。施工を手掛ける安藤ハザマ・東鉄・京急建設共同企業体の現場を訪れ、これまで取り組んできた施工上の安全管理などを取材した。

谷沢川は世田谷区用賀2丁目から同区の南東部を流れて玉堤2丁目が多摩川左岸に合流する延長3.7km。流域面積の99%が市街地に属しており、水害への備えとして1時間当たり75mmの降雨に対応するため、延長3,205mのトンネル構造の分水路を整備する。トンネルは世田谷区道、環状8号線、国道246号の地下約15～30mを通過。上流部で洪水を分流し、下流にショートカットさせて氾濫を抑える役割がある。

工事は玉堤2丁目が発進立坑を築造した上で、昼夜間施工でシールドマシンによるトンネル掘削を実施。玉川台1丁目の到達立坑や、ルート途中に設ける中間排気施設の築造もあり、複数箇所を同時に施工するため最盛期の作業員は50人以上を数えた。コロナ禍といった想定外の事態なども乗り越え、2019年から続いた工事もほぼ完了。現場を訪れた1月上旬は、3月の竣工に向けて到達立坑内の整理清掃や仕上げなどが行われていた。



③発進立坑の地中連続壁工(2020年3月)



④シールド機が発進(2021年5月)



⑤掘進作業を緻密に管理(2022年1月)



📍中間排気施設の現場(2022年10月)。カーブする環状8号線沿いで、すぐ脇は第三京浜道路の掘割だ

📍到達立坑の様子(2025年1月)

飛来・落下防止へ基本を徹底



📍所長の伊藤寛基さん

今回の工事を巡る最大のリスクについて、伊藤寛基いとうひろき所長(株式会社 安藤・間)は、「立坑での飛来・落下災害」を挙げた。立坑などの深さは30m前後あり、資機材の搬出入などに細心の注意を払う必要がある。このため、上方確認をはじめとする「基本的な対策」を徹底。セグメントに代表される大型資機材の搬入などは終わったものの、立坑に出入りする際の指差し確認は今も続けている。また、中間排気施設の築造場所はカーブする環状8号線沿いで、すぐ脇に第三京浜道路の掘割もあることから、周辺をガードレールで囲うなどして車の誤進入を防いだ。到達立坑については首都高速3号線の高架との近接施工を考慮し、レーザーバリアを配備して重機の動きを常に監視した。

6度にわたる夏場や台風シーズンの雨で現場が浸水する危険もあった。実際、着工から間もない2019年10月に台風19号が襲来した際には発進立坑付近で水害が発生。このため発進立坑の開口部を高さ1.5mの壁で囲うとともに、排水ポンプを据え付けるなどして万全を期した。

また、夏場はワンドリンクタイムを設けて作業員らに水分補給してもらうことで熱中症を予防。発進立坑近くに構えていた現場事務所には女性専用のシャワー室やトイレ・更衣室などを完備して、女性が働きやすい環境づくりに努めた。

さらに、施工管理をサポートするASP(情報共有システム)の導入などで業務を効率化。通常なら2パーティーで当たるトンネル掘進の昼夜間施工管理を3パーティーに増やすなどして長時間労働を削減するとともに、現場の4週8閉所を実現させた。

ボトムアップ型の取り組み

伊藤所長と現場代理人の小森康弘こもりやすひろさん(株式会社 安藤・間)はともに50代のベテラン。一方、配属された職員の多くは20代から30代前半の若手が占

📍現場代理人の小森康弘さん



めていた。そこで現場のさまざまな取り組みを「ボトムアップ型」で展開。若手同士で話し合い、考えて動くことが「成長への大いなる糧となる」(小森さん)からで、「迷ったら頼ってくれ」とフォローアップの意志を伝えながら、彼らの自主性を重んじた。

その中の一つのアイデアとして、発進立坑内の作業の安全と注意が視覚的に分かるLED照明を採用。「危険を知らせるために、派手にしたい」という発想を取り入れた。こうした成功体験を通して、若手が次代を担う技術者に育ってくれることを期待している。

周辺の小学校に通う子どもたちの見守りや清掃活動も積極的に実施。騒音や振動などを巡る要望にも真摯に対応したことで「近隣もとても協力的になってくれた」(伊藤所長)と振り返る。他の企業が



④発進立坑内にセグメントを降ろす様子。トンネル坑口に取り付けたLED照明の赤い光は底部からの「退避」の合図。降ろし終わって緑に変わると底部での作業を再開できる

担当する後続の工事はまだ続くものの、分水路が早期にその効果を発揮して地域の安心・安全に貢献してくれることを願っている。

現場で働く人々



青山機工 株式会社 **平泉 進也さん** 機械設備工
(ひらいずみ・しんや)

業者間の垣根を越え、チーム意識をもって工事に取り組みました。工事が始まって間もなく新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行しましたが、少しでも具合が悪ければ休んでもらうなど体調管理を徹底しました。その結果、集団感染は発生せず施工への影響を最小限にとどめられました。



明成建設 株式会社 **林 昇平さん** シールド工
(はやし・しょうへい)

地盤沈下や騒音、掘削後の土の扱いに関しては非常に注意を払いました。一步間違えると大きな災害につながる工事でしたが、工程管理を徹底したことが功を奏し、安全に作業を進められました。以前に東京都の下水道工事を行っていた経験が生かせました。

ショーレジン 株式会社 **木皿 淳安さん** 防水工
(きさら・じゅんや)

材料の搬入や施工の順序について綿密に打ち合わせをしたことで、工事をスムーズに進めることができました。施工中の漏水もほぼありませんでした。今回の経験は、材料提案などの形で今後の仕事に役立てられると思っています。



~みらいをつくる~ 建設×女性力

〈総合リノベーション〉
正和工業 株式会社
磯貝 優良さん
(いそがい・ゆうら)



生活の安心につながる施設整備を

「電気工事業は人々の快適で安心な生活を支える仕事」。そう感じたのは、昨年の夏休み期間に携わった高校の改修工事を終え、綺麗で過ごしやすくなった校舎に感動している生徒たちを目の当たりにしたときだ。昨年3月に入社し、電気設備部に所属する磯貝さんは「技術者の知識をたくさん身

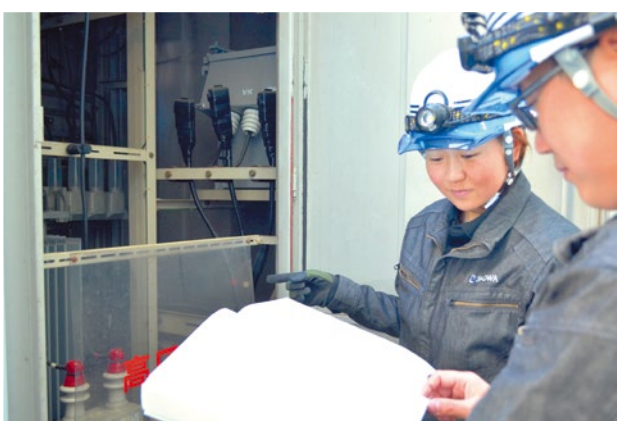
に付けて早く先輩たちと肩を並べたい」と意欲を見せる。物おじしない性格を生かして分からないことは積極的に質問し、初めての業務にも自ら進んで挑戦。毎月1回行う直属の上司との面談を通して月ごとの目標を立て、成長を図るのが同社の社員育成方法の一つだという。その一環で、現場の工程表組みやエクセルを活用した書類作りに初挑戦したことも。「どんなこともチャレンジさせてもらえる環境が成長につながっている」と話す。

もともと他社で電気工事士として働いた経験があり、職人として働くのと管理するのでは必要な知識

と能力が全く違うことに驚いたという。「職人の頃は目の前の作業にとことん取り組んでいたが、施工管理はコスト管理や書類管理、それぞれの建設職種の工程のバランスなどといった『工事全体を見渡す』力が求められる。着工する前から仕事が始まるのが施工管理だと知った」と、その重要性を語る。

現在は埼玉県春日部市内にあるコミュニティーセンターの大規模改修工事に従事する。これからも「公共施設の整備を通じて人々の生活を支えたい」と意気込むとともに、同社の受注規模を踏まえオフィスビルや工場のリノベーションなどの「民間工事も担当して経験の幅を広げたい」と高い志を持つ。郷土愛が強く、いずれは自身が生まれ育った「埼玉県北部エリアの工事を一人で任せてもらえるように成長したい」と目標を見据える。

先輩に教わりながら現場の状況を確認



書類作成にも積極的にチャレンジ

現場で使える天気予報

第18回

冬型の気圧配置で降る 東京都心の雪とは？ 冬から春も落雷に注意



株式会社 ライフビジネスウェザー 気象予報士 近本有希 (ちかもと・ゆき)

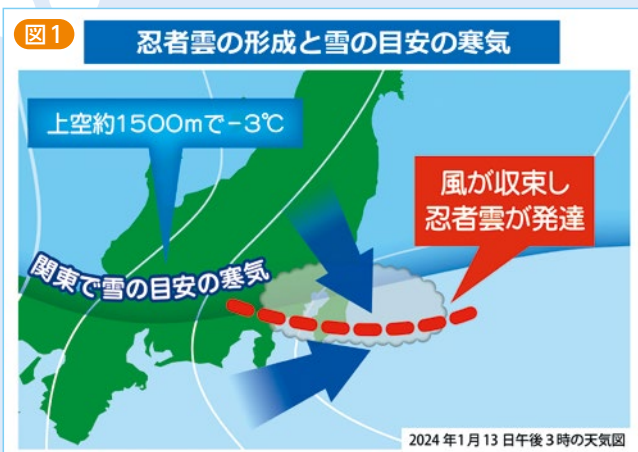
東京都心の雪は関東沖を進む“南岸低気圧”で降り、西高東低の冬型の気圧配置の場合は晴れて空っ風が吹く。これは定説のように言われていますが、冬型の気圧配置でも都心で雪が降ることはあります。“忍者雲”や“房総前線”などと呼ばれる現象によるものです。

2024年1月13日に観測された昨シーズンの東京の初雪は、冬型の気圧配置で降りました。この日は昼過ぎから雨や雷雨となり、次第に雪へ変わりました。午後3時の天気図をみると、関東周辺に低気圧や前線はありませんが、千葉県付近で等圧線が膨らんでいます。赤線で表した部分では、関東北部方面からの北風と東海方面からの西風がぶつかり、雲が発達しやすくなっています。それに加えて、関東上空に強い寒気が流れ込んでいたため、午後5時20分頃に初雪となりました。図1 関東の雪は予測が難しいため、冬用タイヤやチェーン、凍結防止剤や除雪道具は、晩秋から春先にかけて常備しておくとう安心です。

また、昨シーズンの初雪で注目したいのが“落雷”

です。冬の雷は日本海側で多い傾向がありますが、太平洋側で観測されることもあります。昨年は初雪の翌月の2月5日に南岸低気圧によって都心で雪が降った際も雷を伴いました。冬の雷雲は高さが夏の半分程度で、地上からの距離が近いことが特徴です。そのため、夏の雷より1回あたりのエネルギーが大きくて落雷の可能性も高く、“一発雷”と呼ばれて注意が必要な現象です。

落雷から身を守るためには、早い段階で発雷のリスクを知ることが重要です。天気予報で“大気の状態が不安定”や“雷を伴う”というキーワードを見聞きした場合は、気象庁のホームページなどで「雷注意報」の発表状況をこまめに確認しましょう。あわせて雨雲レーダーで雨雲や雪雲の動きもチェックしてください。①真っ黒い雲が近づき急に空が暗くなる、②雷の音が聞こえる、③急に冷たい風が吹くといった急変のサインに気づいた場合は、落雷のリスクが迫っています。安全な建物の中に一時的に避難しましょう。図2



かつこよくない 部分も全て伝える

豊島区で創業し75年の歴史を積み重ねてきた徳力建設工業。地域に根差し区民が利便性を感じられる道路の舗装や土木施設の整備を続ける。土木建設業を取り巻く環境は依然として厳しく、競争と淘汰の時代に入った。そうした中であって、地場の会社ならではの知見を生かした提案に努めているという。経営面では、「ベテランと若手の融合」と「ワークライフバランスを重視した効率的な働き方」に力点を置く。今後、建設ICT（情報化施工）やAI（人工知能）の積極的な活用による「省力化・生産性向上」とともに、若手や女性をはじめ多様な人材が活躍できる企業への変革を目指す。その経営手法を鳥越雅人社長に聞いた。



鳥越雅人社長

新たな採用手法の模索

長年、茨城県にある高校の先生から紹介を受け、若手を採用するルートがあった。しかし、その教員の転勤に伴って、新卒を獲得するという「つて」が一昨年途切れた。会社の中核を担う人材として、現在はなくてはならない存在である技術工事部長も、同じ教員からの紹介だ。感謝してもしきれないほどの思いがあるが、それは過去の話として気持ちを切り替える必要がある。そのため、一昨年から大学生の採用を視野に人材紹介会社を通じて若手確保の活動を始め

た。また、区内で就職率の高い高校12校をピックアップして新年度から訪問する準備を進めている。この取り組みには教師とのつながりを持ち、将来の採用につながる道筋を整えていきたいという狙いがある。

若手の育成状況

高卒の若手に対しては入社後に会社に在籍しながら建設系専門学校の夜間部への通学を推奨している。同社の強みは豊島区の事業を中心とした地域密着型の経営姿勢にある。昨年度は一人の大卒の若者を人材紹介会社経由で採用した。今は熱心に日々の仕事に取り組んでいるという。同社のInstagramを親がフォローすることもある。地方から来た若手の場合、わが子の様子をSNSで確認し、安心を得ている親は少なくない。同社としても、企業PRだけでなく、企業と社員の家族、親子間をつなぐツールとしてSNSの活用も必要であることを改めて認識した。かつての荒々しいイメージが拭ききれない建設産業。入職した若手が安心して働ける環境をいかにして構築するかを考え続ける日々はどこの企業も同じだ。



和気あいあいとした社内

個々に見合った成長を促す環境整備

選ばれる会社へ

近年は若手から選ばれる企業と、そうでない企業がはっきりとしてきたという。先のことを考えると、SNSを含め若手が目を向けるコミュニケーションサービスを積極的に活用することも一つ。それぞれに見合った成長を促す環境の整備を、受け入れる側が学ばなければ将来的な展望は厳しい。試行錯誤を繰り返しながら“選ばれる会社”になるための取り組みは続く。面接時に「ものづくりをする企業」と伝え、新しいものを作り出すという印象を持つ若者は多いが、実際には泥くさい仕事が圧倒的に多い。しかし、鳥越社長は「そうした好印象を与える表現ばかりに固執しては定着率が上がらない」ことを知った。今では実際の業務内容を教え、かつこよくない部分も含め仕事内容の全てを伝えることに徹しているようだ。

育成手法

若手には30代の中堅社員が付きっきりで基本的な指導に当たる。年配者より比較的年齢の近い人の



現場で頼もしく成長する



次代を担う若手社員

ほうが、ソフトな言葉で伝えられるからだ。受け取り方の違いもあるだろうが、話し方一つとっても若手が受ける印象を考えた措置を取ることが重要。そうした指導を一通り終えた後、1級土木施工管理技士の資格取得を指導していく流れとなる。経営者側としては誰しも“若手の本音を知りたい”という思いを持っているが、「そこを探りすぎてはいけない」と鳥越社長は語る。CADの操作に長けた若手女性は、まったく別の職種から同社に入社し、3年以上が経つ。資格取得にも前向きな姿勢を示してくれている。誰がどんな業務が得意で、何を求めているのか、一人一人に見合った指導に努めている。

社員を大事にする会社へ

メリットを感じられる企業でないと若手は興味さえ示さない。若手が過ごしやすい環境の構築に努めるか否か。社内環境一つとっても何かを変えないことには将来はない。コロナ禍以降、働き方自体が変化した。リモートワークの有無、休暇が取りやすい状況なのかなど、若手同士が話し合える場を設け、そこで出た提案を、経営者が受け入れる姿勢が大切ではないかと鳥越社長は考えている。

とくりきけんせつこうぎょう 徳力建設工業 株式会社

会社概要

住所 ● 東京都豊島区雑司が谷1丁目52番15号

創業 ● 1949年

事業内容 ● 舗装工事請負・一般土木工事請負

資本金 ● 2100万円

工事契約の廉売行為規制 改正建設業法「標準労務費」とは

Terra編集部

2024年6月に改正された建設業法は著しく低い労務費による見積もりと見積もり依頼を禁止しました。技能者に賃金が行き渡るようにして持続的な建設業の発展を実現するのが目的です。このため国は工事の契約締結に際し、賃金の原資となる労務費の基準＝標準労務費を示して廉売行為を規制することとしています。

建設業は技能者の高齢化と若年入職者の減少が続き、担い手の確保が難しい状況です。年収も全産業の平均を下回っていて、中長期的な担い手の確保には、厳しい労働環境に見合った賃金への引き上げなどが必要となっています。

一方で、工事請負契約を巡っては、賃金の原資となる労務費の相場が分かりづらく、材料費よりも労務費を容易に削減できたり、技能者の処遇を考慮せ

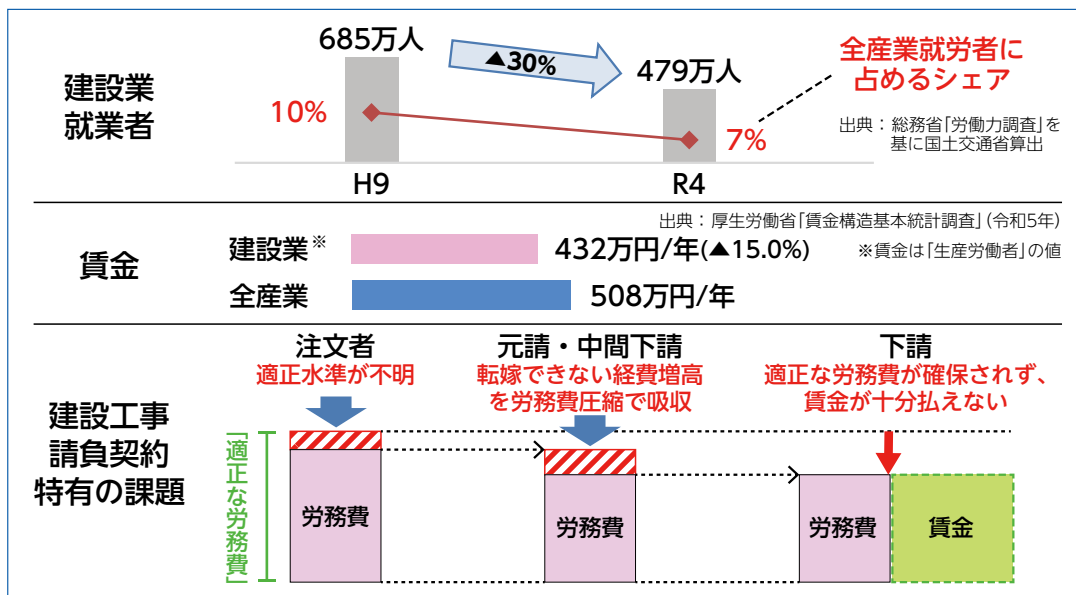
ず安価に請け負う業者が競争上有利になったりすることから、技能者を雇う下請け業者まで労務費が適切に確保されない懸念もあるといわれています。

適正な労務費を 技能者に行き渡らせる

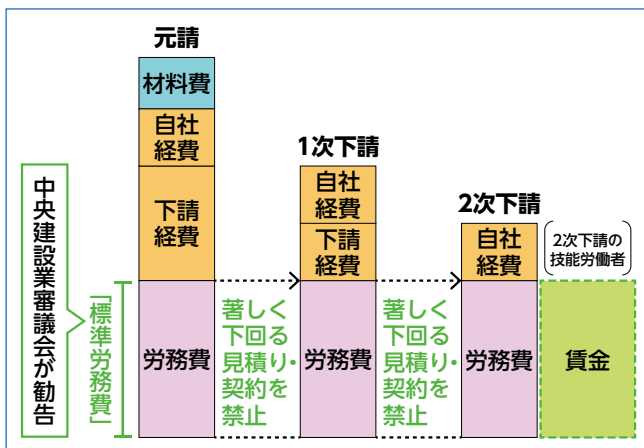
これらの課題認識を踏まえ、国は工事請負契約で適正な労務費を確保して技能者に行き渡らせる新たなルールが必要と判断。公共工事の入札契約適正化法とともに建設業法を改正して対応することになりました。

具体的には、国土交通省の中央建設業審議会（中建審）が労務費の相場観を示す標準労務費を作成・勧告するとともに、これを著しく下回る見積もりや

■ 技能者の処遇を巡る建設業界の状況



■ 労務費確保のイメージ



契約締結を禁止します。違反した業者の指導・監督や、発注者に対する勧告・公表も規定しています。

設計労務単価×歩掛で計算

では標準労務費とはどのようなものでしょうか。

2024年9月に設置された中建審のワーキンググループでの議論によりますと、公共工事設計労務単価に国交省の直轄工事で用いられる歩掛を乗じて計算し、職種別・地域別に標準的なケースで単位施工量当たりの労務費を示すとしています。公共工事と民間工事の違いに関わらず、受発注者間、元請け一下請け間、下請け間の全ての段階で価格交渉時に参照でき、工事を適正に実施する上で計

上されるべき労務費の相場観として機能させます。

実際の見積りに使用する際には、工事規模や現場条件、受注者の生産性などに応じた歩掛の補正を認める方向です。例えば、標準よりも施工条件の整った現場だったり、高度な機械を導入したりする場合は歩掛の値を小さくできるため、労務費は標準よりも下がる格好になります。

一方で、設計労務単価の引き下げによる労務費の縮減は「著しく低い労務費での見積り」に当たり、改正建設業法の違反になるとしています。

12月の全面施行で運用へ

標準労務費の作成に向け、国交省は先行して鉄筋、型枠、住宅の3職種を対象とした関係団体との意見交換を2024年12月末までにスタートさせました。標準労務費を順守する企業が競争上不利にならないよう、「技能者を大切にす企業」の自主宣言制度を整備して、労務費を内訳明示した見積もりなどの取り組みを後押しする方針です。

今後、契約後の賃金の行き渡りや公共工事での対応といった実効性の確保策を具体化し、2025年11月ごろまでに中建審が標準労務費を勧告。12月の改正建設業法の全面施行によって運用が始まる見通しです。

※各図は国土交通省資料を基に作成

■ 標準労務費の運用方針案

【例】ある職種で労務費の基準が15万円と想定

労務費の基準	公共工事設計労務単価	標準的な歩掛りの値
150,000円/t	30,000円/人日	5人日/t
施工条件が良い現場 (標準的なケースよりも大ロット工事の場合)		
120,000円/t	30,000円/人日	4人日/t
労務費の基準よりも低く見積もる場合 (施工条件は標準)		
60,000円/t	30,000円/人日	2人日/t
60,000円/t	12,000円/人日	5人日/t

⇒「著しく低い労務費での見積り」=建設業法違反に

TOKYO 東京 名所ウォーキング

今年、昭和100年、 大きく変遷した東京の 住宅インフラの 歴史を見にい

東京まち歩きライター

鈴木伸子 (すずき・のぶこ)

文筆家・東京まち歩きライター

雑誌「東京人」の元副編集長。

日々東京を徘徊中、執筆中。女鉄道マニアの修行中でもある。
著書に『シブいビル』、『山手線をゆく、大人の町歩き』など。

今年2025年は、昭和元(1925)年から100年目にあたる年。「激動の昭和」と言われ、戦前戦後と大きく社会が変化し、高度成長期以降は世界有数の経済国に躍り出た時代を振り返ると、日本の建設技術は飛躍的に向上し、国内のインフラは世界一という水準で整備されるようになった。中でも、住宅インフラの近代化は著しく、首都東京に暮らす人たちの住環境も大きく変わった。

今回は、そんな昭和期の東京の集合住宅の発展に着目し、画期的な例を訪ねてみた。

震災復興で計画された同潤会アパート、 戦後の住宅不足に対応した越冬応急住宅。

昭和の集合住宅史は、大正末に発生した関東大震災の復興から始まったと言ってよいだろう。震災の揺れや火災により、木造の家や長屋が被害を受けたことで多くの人が住居を失い、構造的にも頑強で不燃化を念頭に置いた鉄筋コンクリートの集合住宅が構想され、実現したのが、同潤会アパートだった。

下町地区にはスラム・クリアランスのため、山の手地区ではホワイトカラー向けのアパートが建設され、



表参道ヒルズに復元されている同潤会青山アパートの住棟

当時としては超先進的でモダンな住宅の例となった。

しかしそれらのモダンアパートも、昭和を経て平成期になると、耐震性や風呂・トイレが住戸に完備していないなどの住環境面などがネックとなり、現在はすべての物件が再開発されている。その建物の面影をしのぶことができるのは、同潤会青山アパートを安藤忠雄の設計で再開発した表参道ヒルズ。かつてのアパートの建物1棟が表参道に面した場所に復元されている。

戦後に深刻な問題となったのは都市部における住宅不足だった。戦災復興が進むと、都営住宅などの公営住宅が建設されていくが、その中でも大規模なものが新宿区の戸山ハイツだ。

戦前は旧日本陸軍の各機関が置かれていた戸山の土地に、昭和24(1949)年に越冬応急住宅として木造平屋建てで約1,000戸が建設されたのが、その始まりだった。昭和40年代には鉄筋コンクリートの高層住宅が多数建設され、現在もそれら住棟が継続している。

戸山ハイツの敷地内には、都立戸山公園があり、かつてここが尾張徳川家の下屋敷だった時代に造成された築山・箱根山も残っているので、ウォーキングに出かけてみるのもよいだろう。



戸山ハイツ、昭和47(1972)年築の14階建。ハイツ内にはこのような高層住宅や5階建のより小型の住棟など様々なタイプの住宅が建っている



④ニューヴェル赤羽台内に保存されている赤羽台団地時代のスターハウス。登録有形文化財



④(写真左)URまちとくらしのミュージアム。予約制、無料で、案内してもらいながら館内を見学できる (写真右上)ミュージアム内に保存、展示されている同潤会アパート内の部屋 (写真右下)蓮根団地のダイニングキッチン。竣工当時先進的だった



昭和30年代、団地にみんなが憧れた時代。 昭和40年代は巨大ニュータウンの建設が進む。

昭和30年代になると、高度経済成長により都市部に人口が集中するようになり、住宅不足はまた深刻になる。昭和30(1955)年には日本住宅公団が設立され、都内では赤羽台、多摩平などに大規模な団地を建設していく。23区内では、昭和47(1972)年に高島平、昭和58(1983)年に光が丘という巨大団地で、第1次入居が始まっている。

昭和37(1962)年に入居開始した赤羽台団地は、現在は再開発され「ニューヴェル赤羽台」となっているが、その敷地内には、日本住宅公団を前身とするURの建設してきた集合住宅の歴史を概観できる「URまちとくらしのミュージアム」が設けられている。

ミュージアム内には同潤会アパートをはじめ各時代を代表する団地、アパートなどの住戸が丸ごと移築されていて、その各室内に入って見ることもできる。

昭和戦後最大の都内の住宅開発とされるのが多摩ニュータウン。東京都の多摩市、八王子市、稲城市、町田市にわたる、面積2,853ha、戸数約10万戸、人口約22万人という巨大コミュニティである。

昭和44(1969)年に多摩ニュータウンの起工式が行われ、昭和46(1971)年に多摩市の永山地区、諏訪地区への入居が始まった。最寄りの永山駅までは、新宿駅からは京王か小田急の特急で約30分で着く。駅前からニュータウン地区を訪ねてみると、築50年以上であるが、思ったほど街は古びていない。

当初から歩車分離で街区は計画され、多摩丘陵の起伏のある地形や車道を挟んだ地区間は歩行者デッキで繋がれて、坂道を上り下りしなくても移動が可能。50年経つうちに樹木も育ち、自然豊かな住環境となっている。

一方で、建物の老朽化や住民の高齢化が問題となっているが、民間マンション「ブリリア多摩ニュータウン」に再開発されている街区や、再生事業、小学校跡地での集合住宅建設なども行われている。多摩市でも多摩ニュータウンのリ・デザイン計画が策定され、人口の横ばい、もしくは微減に対応した魅力あるまちづくりを進めている。



④多摩ニュータウン永山団地。ニュータウン内のおちこちに公園がある



④永山地区と諏訪地区を隔てる道路。街区間は歩行者用デッキで移動できる



④永山地区から諏訪地区を眺める。正面は再開発されたブリリア多摩ニュータウン



④団地内には各所に「ポイントハウス」と言われる高層棟が配置されている



④諏訪2丁目。外壁が住棟ごとにカラフルな色でペイントされている一画

高年齢雇用継続給付率 10%に引き下げ

12月

厚生労働省は4月1日から高年齢雇用継続給付金の支給率を現行の15%から10%に引き下げます。段階的に縮小して廃止する方針で、縮小と同時に65歳までの雇用確保を事業主に義務付けます。高齢層の労働者が多い建設業でも、各事業場での取り組みが求められます。

給付金の対象は、賃金が75%未満に低下した状態で働く60歳以上65歳未満の一般被保険者。60歳になる前6カ月間の平均賃金と比較し、各月に支払われた賃金の低下率が75%未満だと、給付金が賃金に上乘せられます。

賃金の低下率が64%以下の場合、支給率は賃金の10%。64%超75%未満の場合は低下率に応じて賃金の0~10%の給付金が支給されます。

CCUS技能者賃上げ 4月から事業主支援

1月

厚生労働省は4月1日に「建設キャリアアップシステム等活用促進コース(仮称)」を新設し、建設キャリアアップシステム(CCUS)のレベルに応じた賃上げを行う企業などを支援します。

技能者の職場定着に取り組む中小建設業の事業主を対象に、雇用する技能者1人当たり16万円を支給します。支給限度額は1事業年度当たり160万円。CCUSの能力評価でレベルアップするたびに申請が可能で、レベル1から4に上がった場合は3回申請できます。雇用する技能者全ての技能者登録が完了していること、CCUSの能力評価でレベルアップした技能者の賃金を5%以上上げることが支給要件です。

活用促進コースの新設に伴い、これまで建設事業主団体を対象に支援していた「建設キャリアアップシステム等普及促進コース」は廃止します。ただし、普及促進コースの一部は新たな活用促進コースに盛り込んで、25年度末まで継続します。

東京労働局長が 安全衛生パトロール

12月

厚生労働省東京労働局の富田望局長は2024年12月3日に建設現場の安全衛生パトロールを実施しました。「年末・年始Safe Work推進強調期間」(2024年12月1日~2025年1月31日)の取り組みの一環。防災団体のトップとともに「(仮称)池袋西口プロジェクト」の現場に赴き、安全衛生管理の状況などをチェックして労働災害防止対策の一層の推進を促しました。

現場は豊島区西池袋3丁目の池袋マルイ跡地で、オフィスと商業施設が一体となった地下4階地上27階建て延べ床面積4万1,639㎡の複合ビルを建てています。元方事業者は清水建設(株)。2025年11月の完成を予定しています。

現場では元方事業者が「安全帯100%使用による墜落転落災害の撲滅」などの方針を掲げ、働きやすさや省人・省力化の面から安全衛生管理活動を展開。協力会社の職長会も安全や環境といった分野別に委員会を設け、パトロールを通じた声掛けや場内の美化などに当たっています。

パトロールを終えた富田局長は「労働災害は本来あってはならない」と強調するとともに、安全の確保に向けたさまざまな活動を評した上で「他の建設現場の模範となるよう取り組みを推進してほしい」と作業員らを激励しました。



パトロールに当たる東京労働局の富田局長(中央)

東京労働局管内の建設業労災 2024年は死傷、死亡ともに減少

1月

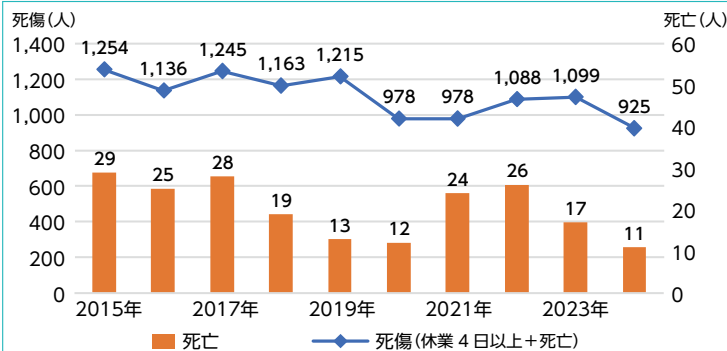
厚生労働省東京労働局がまとめた管内の労働災害発生状況(2024年12月末現在速報値)によりますと、建設業では2024年の1年間に925人が休業4日以上労働災害で死傷し、うち11人が死亡しました。前年に比べ死傷者数は64人少なく、年間を通して前年同月を下回りました。死亡者数も5人少なく、2024年9月以降増えていません。4月上旬の確定まで変動が見込まれるものの、死亡者数については最終的に2020年の12人を下回って過去最少になる可能性も出てきました。

死傷した925人の業種別内訳は建築工事業が621人(1人減)、その他の建設業が159人(31人減)、土木工事業が145人(32人減)。事故の型別では「墜落、転落」が272人(38人減)で最も多いものの、前年より40人近く減って300人を切りました。

このうち死亡した11人の業種別内訳は建築工事業が6人(4人減)、その他の建設業が3人(前年と同数)、土木工事業が2人(1人減)です。事故の型別では「はさまれ、巻き込まれ」が3人(2人増)、「高温・低温の物との接触」も3人(前年と同数)などとなっている他、「墜落、転落」の1人(4人減)は前年の5分の1まで減少しました。

一度に複数人が死傷する前年の事故などを受けて東京労働局が労働災害防止対策の徹底などを業界に要請し、業界も取り組みを強化したことが減少につながったとみられます。コロナの5類移行に伴うコミュニケーションの活性化やハーネス型安全帯の浸透なども減少要因に挙げられそうです。

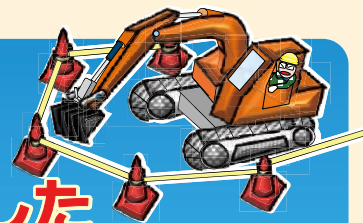
■ 過去10年間の建設業労働災害の推移 (2023年までは確定値、2024年は速報値)



建設業の事業主の皆様へ

令和6年4月1日から

時間外労働の上限規制が適用されました



・ 所定労働時間の枠組みの見直し

・ 年次有給休暇の取得促進

・ 週休2日制の推進

・ 適正な工期の設定

・ 人材確保と育成 など



「働き方」が変わります!!

建設業に適用される時間外労働の上限規制の主な内容は・・・
(36協定の始期が令和6年4月1日以降のものが対象です。)

時間外労働の上限規制が適用されたことで、36協定で定める時間外労働の上限時間は、

原則 月45時間・年360時間

となり、臨時的な特別の事情がなければこれを超えることができなくなりました。

また、臨時的な特別の事情(特別条項)がある場合でも、以下の上限を超える時間外労働や休日労働はできなくなりました。

- ・ **1年間の時間外労働は720時間以内**
- ・ **1か月の時間外労働と休日労働の合計が100時間未満**
- ・ 時間外労働と休日労働の合計時間が「2か月平均」「3か月平均」「4か月平均」「5か月平均」「6か月平均」で**1か月当たり80時間以内**
- ・ 時間外労働が月45時間を超えることができるのは、**年6か月以内**

※例外規定があります。

災害時の復旧・復興の事業に関しては、時間外労働と休日労働の合計について

- ・ 月100時間未満
 - ・ 2～6か月平均80時間以内
- この2つの規制は令和6年4月1日以降も適用されません。



東京労働局

東京労働局・労働基準監督署(支署)

2024.4

はたらきかたススム 検索



東京都建設系高校生作品コンペティション2024 受賞作品決定のお知らせ

2024年12月12日～14日に開催された同コンペティションにおいて、選考の結果、下記の通りの受賞作品が決まりましたのでお知らせいたします。

〈東京建設業協会会長賞 (1点)〉

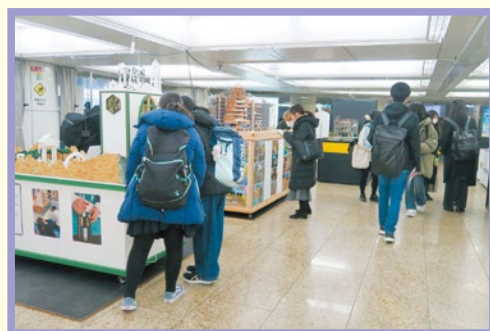
作品名	部門	学校名・学年	名前
星祭庭園	実習	東京都立農芸高等学校 緑地環境科3年	緑地環境科3年



会長賞「星祭庭園」

〈最優秀賞 (6点)〉

作品名	部門	学校名・学年	名前
(仮称) 蔵前工科高校 改築工事 第2次計画	模型	東京都立蔵前工科高等学校 建築科3年	岩井 政瑠 河野 雅也 辻野 瑛太郎 豊田 孝規 松原 煌龍 松本 十和
店舗設計 『食事処 菜々屋』	製図	東京都立墨田工科高等学校 建築科3年	澤口 絆
木構造2階建専用 住宅設計図 (C-C断面詳細図)	製図模写	東京都立蔵前工科高等学校 建築科2年	高野 匠吾
FITTY	家具	東京都立工芸高等学校 インテリア科3年	山畑 惺南
「揺らぎ」	工芸	東京都立工芸高等学校 定時制課程 インテリア科4年	高田 賢人
温故知新と緑の街	ポスター	東京都立工芸高等学校 インテリア科2年	山口 琴音



作品展示会場の様子

上記の他、優秀賞7点、CCI東京特別賞7点、審査員特別賞8点も選出されました。

2025年3月発行(年3回発行) No.134

Terra

—建設雇用と改善TOKYO—

発行：一般社団法人 東京建設業協会
建設労働者確保育成事業推進委員会

取材協力／建通新聞社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1

Tel 03-3552-5656 (代表)

URL <https://www.token.or.jp/>

編集後記

3月の和風月名は^{やよい}弥生。暖くなり草木が生き茂る様子を表す「^{きくさいやおしげ}木草弥生い茂る」を短く略したのが語源だと言われています。春が本番を迎える中で、現場は年度末の繁忙期。日々の作業工程をしっかりと確認し、事故につながりかねない省略行動を回避して、無事故無災害で乗り切りましょう。